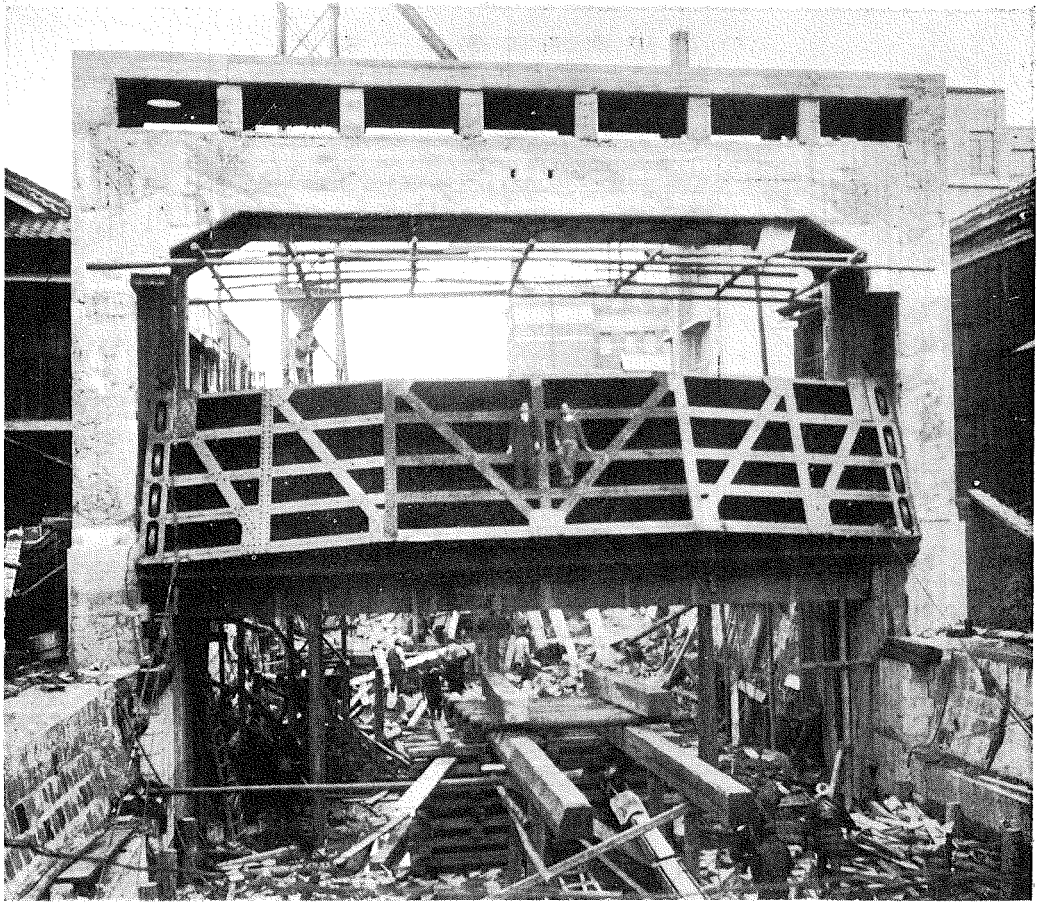


(1) 完成せる江戸堀川可動堰を上流より望む。

江戸堀川可動堰

大阪市土木部 河川橋梁課長 萩野竹四郎

設計施工 大阪市土木部
鐵材製作 大阪鐵工所



(2) 對重コンクリート施工中の可動堰を下流より望む。

江戸堀川可動堰はローラーゲート式で、塔は操作室の關係上、鐵骨鐵筋コンクリートの單層矩形架構とし、梁・柱部ともに一方の開いた溝型矩形で、梁には床を張つて開閉機械一式をここに配置した。

塔の高さは河底より11.15米、外側は15米となつてゐる。扉開閉機械は電動、手動何れでも操作し得る装置で、操作時間は電動で2分、手動なら30分である。

扉は鐵製で高さ3.37米、幅12.88米、厚さ中央に於て1米、兩端では75種で其重量21.52噸である。構造は横桁式で4分格張板9耗のものを用ひ、水密装置としては、兩側は外板に山形ゴムを、下部には檜材を取付けた。

扉の對重は鋼筋コンクリート製で、横61縦1米長12.50米、重量18.002噸外に豫備荷重として鑄鐵製のものを設備した。

河底固工としては下流に點石張木工沈床を施し、又附近の人々の便利の爲2米の人道橋を架設した。

